

みずほCustomer Desk Report 2022/04/11号 (As of 2022/04/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	123.90
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	124.10	1.0865	134.82	1.3071	0.7479
SYD-NY High	124.67	1.0892	135.43	1.3088	0.7492
SYD-NY Low	123.66	1.0837	134.38	1.2983	0.7427
NY 5:00 PM	124.28	1.0875	135.16	1.3033	0.7460

NY DOW	34,721.12	137.55	日本2年債	-0.0800	▲4.00bp
NASDAQ	13,711.00	▲186.30	日本10年債	0.2300	0.00bp
S&P	4,488.28	▲11.93	米国2年債	2.5146	4.80bp
日経平均	26,985.80	97.23	米国5年債	2.7538	3.95bp
TOPIX	1,896.79	3.89	米国10年債	2.7029	3.94bp
シカゴ日経先物	27,030.00	▲70.00	独10年債	0.7065	2.80bp
ロンドンFT	7,669.56	117.75	英10年債	1.7505	2.40bp
DAX	14,283.67	205.52	豪10年債	2.9670	3.00bp
ハンセン指数	21,872.01	63.03	USDJPY 1M Vol	8.98	0.15%
上海総合	3,251.85	15.16	USDJPY 3M Vol	8.88	0.15%
NY金	1,945.60	7.80	USDJPY 6M Vol	8.64	0.09%
WTI	98.26	2.23	USDJPY 1M 25RR	0.15	Yen Put Over
CRB指数	298.207	3.63	EURJPY 3M Vol	10.05	▲0.25%
ドルインデックス	99.80	0.05	EURJPY 6M Vol	9.78	▲0.20%

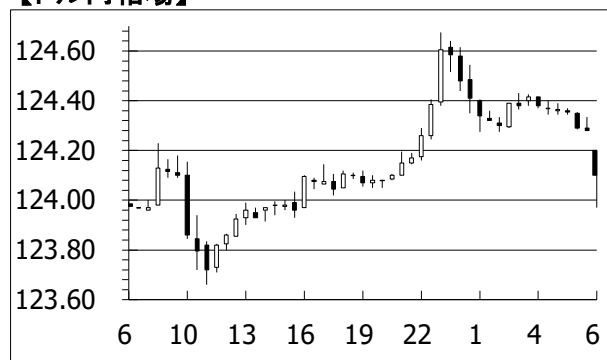
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月8日	23:00	米 卸売在庫(前月比)・確報	2月	2.5%
	23:00	米 卸売売上高(前月比)	2月	1.7%
				2.1%
				0.8%

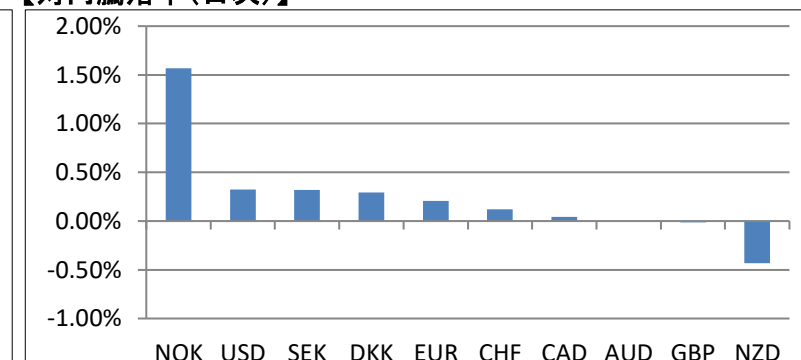
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月11日	10:00	日 黒田日銀総裁 支店長会議挨拶	-	-
	10:30	中 CPI(前年比)	3月	1.3%
	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	2月	0.3%/2.1%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	2月	0.3%/3.0%
	22:30	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 ボウマンFRB理事 講演	-	-
4月12日	01:40	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	123.50-125.00	1.0850-1.0950	135.00-136.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外時間のドル/円は上昇した。米10年債利回りが2.7%台に上昇したことを受けてドル買いが加速し、ドル/円は一時124円台後半までドル高円安が進行した。終盤は、米金利の上昇も一服した為、ドル/円は再び124円台前半まで反落してクローズした。ユーロ/円も135円台まで上昇。ドル買いが加速したことでユーロ/ドルは水準を切り下げたが底値で反発した為、対円ではユーロ高が進行した。本日のドル/円相場は様子見の展開を予想。明日12日に米3月CPIを控えて積極的な取引は控えられそうだ。

東京	東京時間のドル円は下についてこの展開となった。124.10レベルでオープンしたドル円は朝方に実需の売りのフローもあり一時123.66まで下落。その後は反発し、124.04レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、124.04レベルでオープン。欧州株は堅調で、米金利も上昇する中だったがドル円は動意薄。124.02-19円で推移し124.18レベルでNYに渡った。一方でユーロドルは、1.0868レベルでオープン。米金利を受けたドル高圧力で早々に1.0848まで低下するもその後反発すると1.0892まで戻す。しかし勢いは続かず1.0864レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は124円ちょうど付近からの買い優勢でスタートし、124.23まで上昇するも、東京仲値にかけて123.66まで売り込まれた。しかし、米金利上昇や欧州株の堅調推移に下値をサポートされる中、124円台前半で底堅く推移し、124.18レベルでNYオープン。朝方は特段の手掛かり材料は見当たらなかったが、米長期債利回りが約3年ぶりの水準となる2.72%台をつけたことからドル買いが強まり一時124.67まで上昇。その後、米金利上昇一服とともに124.27まで反落。午後は週末ムードで動意乏しく、124.40近辺で小動き。結局、124.28レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでもみ合い、1.0864レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇が重しとなり、1.0837まで下落するが、ECB理事会や仏大統領選挙の第1回投票などのイベントを控える中、ポジション調整の買いが進み1.0880近辺まで反発。午後は週末で積極的な取引が手控えられる中、方向感無く推移し、1.0875レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・上遠野